

令和4年度第3回 景観・広告物審議会資料

各資格の内容

資格の名称	広告物全般に関する知識		実務経験		総合判定	参考			
	試験内容又は受講内容	判定	実務経験（受験資格）	判定		必要資格（受験資格）	試験根拠法令	試験実施主体	
屋外広告士	筆記：関係法規、設計・施工、広告デザイン 実務：屋外広告物の設計またはデザイン	○	屋外広告業等に従事した満18歳以上の実務経験が、3年以上ある者	○	—	なし	屋外広告物法	登録試験機関の認定を受けた一般社団法人日本屋外広告業団体連合会	
職業訓練指導員等	職業訓練指導員免許所持者	○	なし	×	×	①免許職種に関する学科を修めた者で高等学校普通教育免許所持者 ②技能検定1級合格者で職業訓練指導員講習（48時間講習）修了者	職業能力開発促進法	都道府県	
	職業訓練修了者	○	なし	×	×	なし	職業能力開発促進法	厚生労働省、独立行政法人・高齢・障害・求職者雇用支援機構、都道府県	
	技能検定合格者（1級）	○	①施工一般（広告物の種類及び構造、広告物の取付け方法、広告物の安全に関する力学の基礎等） ②材料	必要（条件により1年～7年）	○	○	なし	職業能力開発促進法	各都道府県職業能力開発協会
	技能検定合格者（2、3級）		③デザイン ④関係法規 ⑤安全衛生 等	専門高校等卒業の場合は実務経験不要	×	×			
県市の屋外広告物講習修了者	屋外広告物に関する法令、屋外広告物の表示方法、屋外広告物の施工に関する事項	○	なし	×	×	なし	屋外広告物法	都道府県、指定都市や中核市が開催	
点検技能講習修了者	①屋外広告物の問題と対策 ②屋外広告物の特性と点検ポイント ③屋外広告物の点検実務と評価方法	○	屋外広告物に関する一定の工事経験（設置、撤去、メンテナンスなど）を有している*1	○	○	屋外広告業の登録を受けていること	事業者団体が公益目的事業として実施	一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会及び(公社)日本サイン協会が共催	
建築士	①学科試験：計画、環境・設備、法規、構造、施工 ②設計製図試験	×	なし	×	×	大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、職業訓練校等において、指定科目を修めて卒業した者等	建築士法	(財)建築技術教育普及センター	
電気工事士	電気に関する基礎理論、電気工事の施工方法、一般用電気工作物及び自家用電気工作物の保安に関する法令等	×	なし	×	×	なし	電気工事士法	一般財団法人電気技術者試験センター	
電気主任技術者	理論（電気理論、電子理論、電気計測及び電子計測）、電力、機械、法規（電気法規及び電気施設管理）	×	なし	×	×	なし	電気事業法	一般財団法人電気技術者試験センター	
ネオン工事資格者	自家用電気工作物の保安に関する法令、電気に関する基礎理論、ネオン工事に係る検査方法、ネオン工事の施工方法等	×	5年以上のネオンに関する工事の実務経験	○	×	電気工事士	電気工事士法	一般財団法人電気工事技術講習センター	

\*1 保有資格によって、工事経験に必要な「年数」と「件数」が異なる。

保有資格	必要工事件数	必要経験年数
屋外広告士、ネオン工事資格者 広告美術仕上げまたは帆布製品製造に係る職業訓練指導員・技能士・職業訓練修了者（1～3級） 建築士（1～2級）、電気工事士、電気主任技術者（1～3種）	3件以上	1年以上
資格なし	10件以上	5年以上

※上記は、一般社団法人 日本屋外広告業団体連合会及び(公社)日本サイン協会の加入事業者の場合で、非加入事業者は必要工事件数が異なる。